記載時の留意事項

速報の「発生状況」欄や事故状況等証明書の「事故」欄の「発生の原因・状況」欄の記入する場合は、以下の項目に留意し、できるだけ詳細に記載すること。

1. どのような場合・場所で
2. そのような作業（行動）をしているときに
3. どのような環境（危険な状況、不安全な状態）・アクシデントの発生があり
4. どのようにして災害が発生したのか
5. 傷病の部位・傷病名

【記載例】

1. 建物火災に出動。現場到着後、火災現場付近の水利に部署し、
2. 水利から火点近くまでホースを延長していたところ、
3. 途中の地面にくぼみがあり、夜間のため足元が暗かったことから、
4. つまずいて、バランスを崩し、転倒し、
5. 右膝を打撲する。
6. 河川の水を利用しての放水訓練を実施するため河川敷に出動
7. 本人は筒先員として放水体勢をとろうとしていたところ
8. 機関員が筒先員の体勢を確認せずに送水操作を行い、急激に放水圧が上昇したため、
9. 放水圧に支えきれず筒先に振り回されて、本人の顔面に放水がかかり、
10. 右目を損傷する。